

監査結果の公表(その1)

令和2年度 定期監査(その1)を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 風戸博恭
茂原市監査委員 竹本正明

◆監査の対象

・総務部
・総務課、秘書広報課、職員課、管財課、防災対策課

・企画財政部

企画政策課、財政課、市民税課、資産税課、収税課
・会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局

◆監査の期間

令和2年9月11日から11月20日まで

◆監査の場所

茂原市役所

◆監査の方法

各所管の財務事務及び事務

求めた。

◆意見

事務事業の執行状況に関する意見は次のとおりであるので、検討のうえ一層適切に事務事業が執行されるよう要望する。

共通

・職員一人ひとりが、日常業務における課題を認識し、課題解決に向けた目に見える数値的目標を掲げ鋭意取り組むことで、業務の改善・推進が図られ事業の成果が得られる。成果を積み重ね、事業を推進していくことが、より良い行政運営については市民福祉の向上につながることを念頭に業務に取り組まれない。

総務課

・条例規則等については、現状にそぐわないものが見受けられることから、状況を把握したうえで、各課へ見直しの方針を具体的に示した指導を行われた。

秘書広報課

・市民の様々な意見や要望を把握し、行政に反映させていくことは重要であること

から、「市長への手紙」の他にも、市民が気軽に意見を伝えられる手段や、広く市民の声を聴くことができする方法を検討されたい。

職員課

・職員のモチベーションや能力向上のため、信賞必罰を念頭に公平性を確保した人事管理に努めるとともに、人事評価制度については、評価の理由も含めた通知とするなど効果的な方法について検証されたい。また、評価制度の有効活用を図りながら、職員の意欲向上のための新たな取組についても検討されたい。

管財課

・活用予定のない普通財産については、従来からの画一的な方法だけでなく様々な手段を検討し、早期売却に取り組まれない。

防災対策課

・大規模災害発生時や災害が長期化した際は、自助・共助・公助一体となった災害対応が必要となることから、平時から自主防災組織の活動状況を把握し、より多くの自主防災組織が災害

時に積極的な活動ができるよう指導助言に努められた。

・災害時の避難者は、地域住民だけでなく帰宅困難者等も想定され、指定避難所の収容可能人数を上回る可能性があることから、各避難所における利用可能施設の見直し、直近動員の増員など、人命を守るための避難所の在り方について見直しを検討されたい。

企画政策課

・次期総合計画については、今後実施されるパブリックコメントにより、広く市民の声に耳を傾け、意見を十分反映させながら、計画の策定にあたられたい。また、令和3年3月の策定に向け、遺漏のないよう取り組まれない。

財政課

・新型コロナウイルスの影響により厳しい社会経済状況が懸念される中、今後の財政運営は、義務的経費の増加や公共施設の老朽化対策に加え、新型コロナウイルス対策に関わる経費の増加が想定されることから、的